

立志式あいさつ

二年生の皆さん、日中のスキー教室は、どうだったでしょうか。あと十日余りで、二月四日「立春」を迎え、暦の上では春となるこの時期、例年ならば、一年の中で、最も寒い時期ではありますが、今年は暖冬で、豪雪地帯であっても、積雪が少ないということを目にします。

そうした中、ここ湯元温泉スキー場においては、予定通りスキー教室を行うことができ、また、このような素晴らしい自然の中で、立志式が行えますことを大変うれしく思います。

立志式を迎えた、二四六名の二年生の皆さん、本日は、おめでとうございます。

皆さんは、心を新たに、志を立て、これからの人生を歩んでいくこととなります。

立志の意味については、すでに担任の先生よりお話があったと思いますが、簡単に言うと、「将来の決意や目標などを定め、大人になる自覚を深めること。」です。

皆さんは、十四歳という社会的にも自分の責任が問われる年齢に達し、これからの数年間というのは、精神的にも身体的にも大きく成長する時期です。

そして、まもなく中学校三年生となり、進路選択という大きな課題が待ち受けています。こうした時期に、立志式を行うことは、大変有意義なことでもあります。

すでに、皆さんは、立志式を迎えるにあたり、将来について考え、大人に近づいていくことを自覚し、それぞれに決意をしたことと思います。ぜひ、これからは常にその決意を意識し、日常生活の中で実行していきましょう。

さて、これからの皆さんが大人になって、迎える社会は、今以上にグローバル化や技術革新が進み、大きく環境が変わっていることが想像されます。皆さんは、そうした社会に向かって、成長する中で、困難な場面に遭遇したり、失敗したりすることがあるかもしれません。

失敗することは決して悪いことではなく、そうした時こそがステップアップの時です。良くないのは、失敗した時に、人のせいにしたたり、言い訳をしたりすることです。

うまくいかなかった時こそ、よく振り返り、自分らしさを大事にして、ステップアップしてほしいと思います。

そして、様々な経験を積む中で、困難を乗り越える力を養い、へこたれることなく、たくましく成長することを願っています。ただ、社会に反すること、人に迷惑をかけることは、絶対にいけません。ルールをしっかりと守り、自分の決めた志を常に胸に抱き、前向きに、堂々と歩んでいってください。

四月からは、三年生となるわけですが、最高学年として、学校行事や生徒会活動、部活動等で下級生をしっかりと引っ張ってほしいと思います。

そして、仲間と協力し、元気に、楽しい中学校生活を送り、素晴らしい学校づくり、思い出作りをしていってください。

最後に、この機会に皆さんの保護者や家族についても考えてみてください。さい。

皆さんが、ここまでやってこられたのは、保護者やご家族、そして地域の方々の支えがあったからです。

これまでの十四年間、皆さんの成長を見守ってくれたからです。

そうした方々への感謝を決して忘れることなく、これからも感謝の気持ちをしつかりと持ち、頑張っていて欲しいと思います。

皆さん一人ひとりの成長と、ますますの活躍を期待し、式辞といたします。

令和二年一月二十三日

宇都宮市立姿川中学校長 田中芳浩、